

2024年4月27日（土）

老球の細道793号

バスケットボールプロ化の発展に想う

会津バスケットボール協会 室井 富仁

NBA グリズリーズでプレイしていた渡辺雄太選手が今シーズンで NBA を引退し、来季から日本の B リーグでプレイすると発表した。世界最高峰リーグで過ごした6季を「色々な逆境を乗り越えて、ここまで成長することができた。今は自分自身を褒めてもいいのかなと思っている」と記者会見で語った。B リーグのどのチームでプレイするか楽しみである。

同じくプロバスケットボールの世界であるが、B リーグ福島ファイヤーボンズは今季も B1 進出はかなわず、東地区5位の成績でシーズンを終了した。今季は昨シーズンからメンバーを半分以上も入れ替え、ヘッドコーチも外国人を入れたり、シーズン途中で解雇したりとなりふり構わぬ強化策を講じたがうまく機能しなかった。しかし、シーズン後半から史上最高の観客動員数を記録し、徐々に人気と知名度をアップして来た。来シーズンに向けてどのような改善策を用いれば念願の B1 進出がかなうのだろうか。選手か、コーチか？

プロ選手及びプロスポーツの果たしている役割は5つあると言われる。（『プロスポーツ論』内海和雄著 創文企画から）。簡単にまとめると下記の通りである。

- ①**文化開発・普及**：高度な技術の開発であり、それによる普及である。その技術はやがて大衆的に普及して、広く国民の文化として定着する。
- ②**経済効果・地域活性化**：人気チーム、選手のキャラクターグッズはファンにとって宝物である。そのチームが勝利すると、ホームタウンをはじめ、関連企業がバーゲンを催し、消費が促進される。その地域の居酒屋等では、そのことが話題になりコミュニケーションが盛り上がる。ホームタウンでは地場産業の活性化、雇用促進となる。
- ③**知名度の上昇**：全国、全世界への知名度を上げたい自治体にとって、プロ球団や自治体の行う国際的なイベント招致は絶好の機会である。
- ④**道徳的効果**：プロスポーツは国民や地域住民に高度な技術を通して夢と希望と感動を与える仕事である。ヒーローは完璧な人間として期待される。青少年の健全育成の手本ともされる。また最近では大谷選手などの活躍が欧米人に対する日本人のコンプレックスを解消してくれる。日本人でもやれるという自信を与えてくれる。
- ⑤**住民への地域アイデンティティ**：おらが町のプロスポーツ球団により、思想も社会的地位も、老若男女に関わりなく、最良のチームを応援するという一点でつながりあえる。

男子 B リーグは 26 年度から現在の B1 の名称を「B リーグプレミア」に変更する。選手年俸の総額を決める「サラリーキャップ制」や新人獲得の「ドラフト制」、そしてオン・ザ・コート外国人選手枠の撤廃などを導入して、NBA に次ぐ世界第2位のプロバスケットリーグを目指すという。ボンズもその仲間入りするため、郡山市は郡山体育館を改修中である。

中島みゆきの『地上の星 🎵』が頭に流れて来た。身はアマチュアでも心はプロフェッショナルでありたい。手抜きをしないで全力で取り組む、高みを目指す、独創的であれ。